



北海道議会議員(札幌市東区)

道政だより

丘珠空港の 機能強化実現を 北海道・東区 創生の推進力に!

わたなべ やすじ 靖司

第2回定例会の一般質問で 丘珠空港の滑走路延伸など 機能強化の必要性を猛アピール

6月23日の第2回道議会定例会の一般質問で、「学校における働き方改革」「児童相談体制の充実」「歩きスマホ対策」「道産木材の需要喚起」「丘珠空港の滑走路延伸」について、道の取り組みをいただきました。

丘珠空港に関しては、先だって札幌市が公表した札幌丘珠空港利活用検討委員会の報告書で、滑走路を現在の1500mから1800mに延伸し、早期の供用開始を目指した整備を国に要望するよう提案があったことを踏まえ、鈴木直道知事が「滑走路延伸による空港機能の強化は、道内航空ネットワークの拠点機能のほか、防災機能や地域医療への貢献など、丘珠空港の役割を果たすために重要」との認識を示し、札幌市と緊密に連携して必要な取り組みを進めるとの考えを明らかにしました。

ごあいさつ
日頃から私の議員活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆さまにお見舞い申し上げます。
新型コロナウイルスの終息がまだ見通せない中、道内でも経済や市民生活に大きな影響が生じています。この間、私は道議会経済委員会や道内経済への影響と対策、道産食品の販路拡大や海外からの投資の活性化について道の対応をたすなど、新型コロナウイルスの早期終息と経済の力強い回復に向けて全力で取り組んでおります。
さらに、北海道の一層の成長に不可欠なのが丘珠空港の利活用の推進です。滑走路延伸をはじめとする空港機能の強化について札幌市の検討委員会が報告書を取りまとめるなど、その機運は着実に醸成されています。この機会を生かし、地域の活性化につなげるべく力を尽くしてまいります。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願いたします。

北海道議会議員 **渡邊 靖司**

【わたなべ靖司(やすじ)のプロフィール】

- 昭和31年3月5日生まれA型 ●札幌市立北園小学校、明園中学校、札幌光星高校卒業、東海大学(中退) ●株式会社 丸信ワタナベ 代表取締役
- 【北海道議会】議会運営委員、経済常任委員、新幹線・総合交通体系対策特別委員
- 【自民党道連】総務会常任総務、政務調査会委員、選挙対策副委員長
- 【資格】宅地建物取引士、大型2種自動車免許、1級小型船舶操縦士
- 【公職歴】●札幌青年会議所 副理事長 ●日本青年会議所 北海道地区協議会 運営専務 ●北海道私立幼稚園 PTA連合会 会長 ●北園小学校PTA連合会 会長 ●東区PTA連合会 副会長 ●北海道神宮第28北栄祭典区 代表委員長 ●札幌市東消防団 北栄分団 分団長
- 【現職】●東区北栄連合町内会 顧問 ●北栄東町内会 副会長 ●北24条東商工振興会 副会長 ●北園小学校 評議員 ●北27条会館 理事長 ●札幌村郷土記念館保存会 相談役 ●札幌市東区少年軟式野球連盟 顧問

わたなべ靖司政務調査室

〒065-0024 札幌市東区北24条東9丁目1-31 しみきまビル1階

TEL.011-750-1717

FAX.011-722-6677

<https://watanabe-yasuji.jp/>

令和2年 第2回北海道議会定例会 一般質問

1. 学校における働き方改革などについて

(1) 不登校児童生徒への対応と教員の負担軽減について

- 1. 不登校児童生徒への対応について
- 2. 退職教員の活用について

(2) 学校における働き方改革について

渡邊議員 昨年11月に行った実態調査で、教職員が依然として土、日曜日の部活動指導などに相当の時間を充てている実態が課題となっており、新型コロナ対策を講じる中で、補充のための授業、子供たちの心のケアなど、教員にはさまざまな取り組みが求められている。今年度末に期限を迎えるアクション・プランの目標達成に向けて、どのように取り組んでいく考えなのか。

教育長 今回の調査結果をもとにした要因・背景の分析や各般の取り組み効果の検証を行いながら業務改善を推進し、アクション・プランの目標達成に向け、市町村教育委員会などと連携しながら、働き方改革の実現に積極的に取り組んでいく。



2. 児童相談体制の充実について

渡邊議員 児童相談所だけですべての対応を行うことが難しくなってきたと考える。児童相談所と児童家庭支援センターが連携することによって、相談体制の充実につながるのではないかと。児童の負担が過重とならないためにも、子供たちの安心安全を最優先し、相談体制の充実をはじめ、地域の関係機関相互が連携し、支援について児童からもっと強く働きかけるべきと思うが、どのように考えているのか。

鈴木知事 今年度から、児相に市町村支援を専任する児童福祉司を配置し、情報共有や連携促進を図るとともに、児相と児童家庭支援センターが日頃から情報交換を重ね、地域の児童相談体制の強化を図るなど、子供の権利が守られ、健やかに成長できる社会の実現に取り組んでいく。

3. 歩きスマホ対策について

渡邊議員 歩きスマホによる事故が全国各地で発生し、社会的な問題となっているが、歩きスマホは規制の対象外であり、具体的な対策が行われていない。スマホは立ち止まって操作するものという意識を社会に浸透させることが必要と考えており、条例の制定などにより、歩きスマホの根絶に積極的に取り組んでいくべきではないかと考えるが所見を伺う。

環境生活部長 道では、道警察や関係機関との連携による街頭啓発や安全教育、民間事業者による安全利用キャンペーンなど、交通マナーの向上に向けたさまざまな取り組みが行われている。今後とも注意喚起を行うなど、事故等の未然防止に取り組んでいく。



4. 道産木材の需要喚起について

渡邊議員 森林づくりを計画的に進めながら、道民のニーズやライフスタイルなどを踏まえて生産された木材・木製品を提供していく必要がある。森林王国である本道が、率先して道産木材の魅力や効

果的な使い方を道内外に強く発信するなど、需要を掘り起こしていくことが重要だと考えるが、どのように取り組んでいくのか。

鈴木知事 関係団体や企業と連携し、公共施設の木造・木質化や「HOKKAIDO WOOD」のPR強化に取り組むなど、木材を身近に感じる新たな暮らしや働き方を広く提案するなど、道産木材の魅力の発信と需要喚起を積極的に進め、本道の林業・木材産業が持続的に発展できるよう取り組んでいく。

5. 丘珠空港の滑走路延伸について

渡邊議員 丘珠空港の滑走路を延伸することにより、2030年の北海道新幹線の札幌延伸や、札幌冬季オリンピック・パラリンピックの招致に伴って想定される道内の観光需要の増加に対応していくことが可能となり、北海道経済の活性化や道内航空ネットワークの充実に大きく貢献するものと考えている。札幌市や経済界とも連携し、さらに積極的に取り組むべきである。滑走路延伸による効果をどう認識し、今後どのように取り組んでいくのか。

鈴木知事 滑走路延伸による空港機能の強化は、道内航空ネットワークの拠点機能のほか、防災機能や地域医療への貢献など、丘珠空港の役割を果たすために重要なものと考えている。今後、札幌市などと緊密に連携を図りながら、一層の利活用と機能強化に向け、必要な取り組みを着実に進めていく。



経済委員会

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 中小企業の資金繰り支援について
- 海外からの投資の受け入れについて
- 道産食品の販路拡大について



経済委員会での質問



渡邊道議が所属する議会運営委員会



新型コロナウイルス感染症の研修会



食と観光連携の会議